

【指定就労継続支援A型事業所 経営改善計画書と結果】

事業所名称	合同会社 自然農業社		代表者指名	小田 大介	
事業所所在地	北海道有珠郡社管町字立香92番地				
連絡先	電話番号	0142-66-2141		FAX番号	0142-82-3254
職員数	5人	定員	20人	利用者数	25人 (うち身体 5 知的 13 精神 7 その他 0)
事業所の設置主体	社会福祉法人 (民間企業・NPO法人・その他)			設立年月日	2015年4月
改善計画期間	2019年4月1日～2020年3月31日(1年間とすること)				

1 具体的改善策と結果
(詳細かつ具体的に記載すること)

<p>(具体的改善策) 生産能力は年々上がっていることから、引き続き作付面積の拡大、栽培時期を早めること等により農業の収入を増加させる。 また、加工品についても製造期間を前年よりも長く確保出来るよう体制を整え、製造量を増加させて収入を増やしていく。 肥料製造の生産方法を見直し、より効率よく生産できる現場体制を整え、製造量を増やしていく。 販売先には賞金上昇による経費の負担増について説明し、全体的に製品の価格を上げていく。 経営については、生産性向上の為に必要な投資はしつつも、整理整頓を徹底し資材等の無駄をなくす等により削減に努めていく。 会計処理の方法を変更し、品目ごとの売上を正確に把握できるようにし、今後の経営改善に役立てられるようにする。 利用者賞金については、現在定員に達していることから基本的に受入は行わず、現状維持を計る。</p>	<p>(結果) 計画に従い今期も作付面積の拡大、栽培の工夫を行い、農業収入の増加を図り、農業収入を大きく伸ばすことができた。 加工品についても、製造期間の長期化を図り、製造量を増やすことができた。 また、肥料製造も製造方法の改善を図り、製造量を大きく増やすことができた。 製品価格の値上げについては、上手くいったものと上手くいかなかったものがあった。 以上の改善策により、目標収入額にあと一歩及ばなかったものの、大きく改善することができた。 経費については、消耗品については削減を努めたものの、生産拡大に伴う生産設備の拡充のための費用が予定よりもかかってしまった。 特に、比較的良好の良機(フォークリフトとトラクター)を購入したが、中古のため償却期間が2年と短期であったため減価償却費がかなり大きくなり、大幅な費用の増加となってしまった。 利用者については、定員に達している為、受け入れをストップした結果、利用者賞金は計画よりも減額となった。 総括すると、生産量増大により収入を大きく増加できたが、設備投資により費用が増加したため、昨年度に比べ大きく改善することができたものの、計画達成には至らなかった。</p>
--	--

2 計画期間を通じて実施する事業内容と結果

計画期間を通じて実施する事業内容	計画期間を通じて実施した事業内容
<p>引き続き主な事業内容である有機農業を実施し発展させていく。 有機栽培でズッキーニ、にんにく、玉ねぎ、じゃがいも、大根、大豆、黒豆、小豆を生産し、販売していく。 また自社農産物を利用した加工品製造を実施し、前年より製造期間を延ばしていく。品目は黒にんにく、切干大根、乾燥ごぼうを製造販売する。また、新たに乾燥玉ねぎ、ドライトマト、乾燥納豆を試験的に製造販売する。 引き続きいふん肥料を製造販売していく。 良質な農産物・加工品の製造に努め、意識の高い顧客を持つ業者等に販売していく。 引き続き農業経験が長い管理者、営業販売に長けている賞金向上達成指導員が計画に則って事業を実施していく。</p>	<p>今年も、有機栽培による有機農産物の生産(ズッキーニ、にんにく、玉ねぎ、じゃがいも、大根、大豆、黒豆、小豆)及び自社農産物等を使用した加工品製造(切干大根、黒にんにく、乾燥玉ねぎ、乾燥ごぼう)及び鶏糞肥料製造を行った。 また、新たに乾燥玉ねぎ、ドライトマト、ドライズッキーニの製造を行った。 農業生産については天候不順であった昨年度と比べ今期は天候に恵まれたこともあり、特に大きな問題もなく予定通りの収穫量を確保することができた。 顧客は安心安全な食品を求める意識の高い方を対象としてきたが毎年安定して良質の食品を提供できているため顧客は定着してきている。 市場は安心安全な食品を求める傾向にあり、今後も安定した需要が見込まれる。 品目は一般的なものであるが、有機栽培で付加価値の高い商品を提供しているため競合を避けることが出来ている。 農業経験が長い管理者、営業販売に長けている賞金向上達成指導員が計画に則って事業を実施した。</p>

(※)事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性(どのような資格、経験等を持った者が担当するか等)について詳細に記載すること

3 計画期間を通じて達成する事業収入目標額(1年間の額を記載)と結果

計画期間を通じて達成するべき目標収入額	計画期間を通じて達成した収入額
31,800,000円 円	31,732,868円 円
<p>(積算根拠) 昨年度実績 24,383,859円 今年度740万円増加 内訳 売上収入27,600,000円(昨年度20,257,259円、今年度730万円増加(農業500万円増加、加工品170万円、肥料60万円増加)) 雑収入 4,200,000円(昨年度4,126,600円、10万円増加) 18.9(平均利用者数)×5.13(平均労働時間)×835(最低賞金)×26.6(平均利用日数)×12=25,842,143</p>	<p>(主な費目) 売上収入 27,052,522円 (内訳 農業25,251,982円 肥料1,380,583円 調理品419,957円) 雑収入 4,680,346円</p>

(注)目標収入額は、「平均利用者数×平均労働時間×最低賞金額×平均利用日数×12か月」以上の額でなければならない。

4 計画期間を通じて達成する必要経費の見込額(1年間の経費を記載)と結果

計画期間を通じて見込まれる経費	計画期間を通じての経費
7,000,000円 円	12,710,517円 円
<p>(積算根拠) 昨年度実績 7,985,415円 (資材等の購入を前年よりも抑え前年度の水準以下に抑える)</p>	<p>(主な費目) 減価償却費445万円、材料費307万円、包装資材費182万円、発送費136万円、資材費182万円</p>

5 生産活動に係る事業の収入-生産活動に伴う必要経費(見込みと結果)

計画期間後の「収入-経費」(見込み)	計画期間後の「収入-経費」(結果)
24,800,000円 円	19,022,351円 円

6 計画期間後の利用者の総賞金額(見込みと結果)

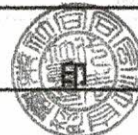
計画期間後の支払い総賞金額(見込み)	計画期間後の支払い総賞金額(結果)
24,800,000円 円	23,411,226円 円
<p>(積算根拠) 昨年度賞金合計 27,453,002円 (現在昨年度よりも2名減員のため2,640,000円減)</p>	<p>(積算根拠) A型利用者賞金合計 23,411,226円</p>

7 5の結果から6の結果を引いた額

-4,388,875円 円	8 工賃変動積立金など(7がマイナスの場合に補填できる積立金の額) 0円
---------------	--------------------------------------

※ 8の工賃変動積立金などがある場合は、その積立額を確認できる書類を添付してください。

事業所代表者署名欄 小田 大介



6/10 発行

※ 社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、上記5、6の計画期間後の収入と経費、総賞金額が確認できる書類を添付してください。